

夢に向かって学ぶ

久留米市教育委員会発行
No. 15 (平成29年11月)

くるめっ子通信

発行：久留米市教育委員会

〒830-8520 久留米市城南町15番地3

TEL 0942-30-9213 FAX 0942-30-9719

E-mail:kyousou@city.kurume.fukuoka.jp



金島小学校が日本水大賞「グランプリ」を受賞 ～ 郷土愛を育む取り組みの大きな成果 ～



金島小学校では、総合的な学習の時間で、地域の方々にご協力いただきながら、地域の宝である筑後川や床島堰等について学習した成果を、創作劇「とこしま堰物語」として20年に渡って、上演し続けています。

子どもたちが筑後川を題材に、床島堰を築いた多くの民衆の偉業について学び、劇を上演する活動は、水とともに生きてきた日本や地域の特色を実感できるものであり、長年上演活動を継続していることが大きく評価され、日本水大賞※の「大賞（グランプリ）」を受賞しました。

久留米市では、金島小学校のように、子どもたちが地域の自然や歴史・郷土の偉人などについて学び、「ふるさと久留米」への誇りや愛着を育むことを目的とした学習である「くるめ学」に、全ての市立小・中・特別支援学校で取り組んでいます。



緊迫した演技です

※日本水大賞：安全な水・きれいな水・おいしい水にあふれる21世紀の日本と地球を目指し、水循環の健全化に貢献する様々な活動のうち、社会的貢献度が高く特に優れたものを表彰する賞

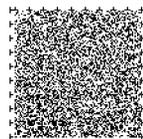


昨年のサミットの様子

「くるめ学」子どもサミットで学習成果を発表

久留米市では、平成24年度から「くるめ学」子どもサミットを開催し、市立小・中・特別支援学校で取り組んでいる「くるめ学」の成果を市民・保護者の皆様に発表しています。

本年度は、11月22日（水）13時50分から久留米シティプラザ久留米座で開催します。
（受付13時30分開始、事前申込み不要）



夏休みの力作749点がずらい ～「久留米市理科作品展」は第70回を迎えました～



たくさんの作品が並びました

9月2日・3日、久留米工業大学で、「久留米市理科作品展・サイエンスフェア」を開催しました。来場者は、2日間で2,761名に上りました。

市立小学校、中学校の子どもたちが、夏休みを中心に観察・研究、創作、採集した作品は、力作ぞろいでした。今年は特に、中学生の質の高い研究が目を引きました。

また、第70回を記念し、市文化財保護課の協力で、市所有の田中久重（からくり儀右衛門）作「弓曳き童子」を展示・実演しました。



「弓曳き童子」

〈来場者の声〉

- 内容が多彩でよかった。自分でやってみることが大切だと思う。
- 子どもの意欲の持続が素晴らしい。理科が好きになる教育をこれからもやってほしい。
- サイエンスショーが楽しかった。また来たい。



好評だったサイエンスショー

教職員の人権意識を高める研修に取り組んでいます

8月1日に、久留米市立学校教職員を対象とした「人権・同和教育夏期講座」が久留米シティプラザで開催され、講師の福岡県人権研究所の谷口研二さんに、「持続可能な教育改革の基盤としての人権教育」と題して講演をいただきました。

講演では、昨年12月に施行された「部落差別の解消の推進に関する法律」についてのお話もいただき、部落差別のない社会の実現のための教育及び啓発の必要性について、改めて理解を深めました。

人権・同和教育の推進は、久留米市が進めている「第3期久留米市教育改革プラン」を支える重要な視点の1つとして位置づけています。

未来を担う子どもたちの確かな人権感覚を育むため、教職員自ら学び続けるために取り組んでいます。



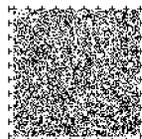
講演いただいた
谷口研二さん



市内ほぼ全ての教職員が参加し、
人権意識を高めました。

〈参加者の声〉

- 私たちも、学ぶ姿勢を大切にし、差別を許さない子どもたちの育成に力を入れたいと思います。
- 今の事として、身近な事として、自分の事として学びを積み重ね、人権意識を高めて行きたいと強く思いました。
- 学び続けることで、人権意識も高まっていくことを改めて知りました。
自主的に学んでいくことも大切にしたいと思いました。



久留米市立高校の魅力を紹介します

かける 南筑×人間力

南筑高校では、至誠・剛健・勤労の校訓のもと、高良山を望む豊かな自然環境の中で、生徒の個性を引き出し、可能性を伸ばしています。



みんなで考え、みんなで理解し、みんなで語り合う
そして、大切な力が身についてくる
人権・同和教育を基盤として取り組んでいます



部活動も頑張る南筑生
全国大会や九州大会にも出場しています

進路実績（平成28年度）

4年制大学	89名
短期大学	27名
専門学校	82名
公務員	15名
就職	19名



柔道部女子団体 金鷲旗優勝



全員で取り組む体育祭

久商 ~飛躍できる 3年間がここにある~

久留米商業高校は、地域の方に支えられ、歴史を重ねてきました。
120年の伝統が、生徒の夢を後押ししています。



すべてのホームルーム教室に設置している電子黒板は
インターネットにも接続
海外の文化や言語に触れる機会も増えました

進路実績（平成28年度）

4年制大学	115名
短期大学	12名
専門学校	49名
公務員	22名
就職	36名



パソコンを駆使した授業



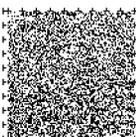
全国・九州大会に多くの部が出場
珠算・電卓部は全国大会で団体優勝
しました



久留米商業高校
イメージ
キャラクター
キュウちゃん



たくさんの行事で1人ひとりが輝きます



2泊3日の英語で過ごす宿泊体験 ～中学生イングリッシュ・キャンプ開催～

◆英語のみで活動する宿泊体験

本年度も、市立中学校45名の生徒を対象に「久留米市中学生イングリッシュ・キャンプ」を久留米商業高校セミナーハウスで実施しました。このキャンプは、2泊3日の英語のみによる宿泊体験を通して、英語によるコミュニケーション能力を養うとともに、英語学習に対する意欲を高め、これらの体験や英語への思いを各学校に広げていくことをねらいとしています。

日	主な活動内容
1日目	<ul style="list-style-type: none"> ●入国式 ●バッグデザイン ●ブース別活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ツイスター ・クイズ ・ミッションインポッシブル ・Q&A Time など
2日目	<ul style="list-style-type: none"> ●「We are くるめっ子」プレゼン準備 ●ブース別活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ライティング ・語彙力+暗記力診断 ・フォニックスかるた など
3日目	<ul style="list-style-type: none"> ●「We are くるめっ子」プレゼン発表 ●Good-bye/パーティ ●出国式 など

○入国式
入国審査を受けている様子です。英語の質問に英語で答えます。



○ブース別活動
5種類の活動（アクティビティ）を体験しました。

○「We are くるめっ子」
様々な工夫を凝らして久留米の「おすすめ」を英語で紹介しました。



参加者全員での記念撮影

参加した生徒にとって、とても充実した3日間になりました。

～参加者アンケートから～

・英語が好きになったし、少し話せるようになりました。これからも英語の勉強をして、留学したいなと思いました！！

～英語でアンケートに答えた生徒もいました～

・**I was glad to join English Camp. I learned "Don't be afraid of making mistakes when I speak English. Let's challenge to speak English!!" It's very important.**

<訳>

イングリッシュキャンプに参加してよかったです。「英語の間違いを恐れてはいけない。英語に挑戦しよう!!」ということがとても大切だと学びました。

「放課後学習ボランティア」募集中

久留米市では、放課後や夏休み・冬休みなどに、学生や地域のボランティアの皆さんにご協力いただき、小・中学生が自学自習・家庭学習の習慣を身につけるための「放課後学習会」を実施しています。

本年度も、学生や地域の多くの方々にご協力いただいておりますが、ボランティアの募集は随時行っておりますので、ボランティア活動にご協力いただける方は、学校教育課（0942・30・9217）までご連絡ください。



放課後学習会の様子

